

「さあ、はじめよう」 講義要綱改訂

特定非営利活動法人 星のソムリエ機構
講義要綱グループ

代表：柴田 晋平

メンバー：荒明 慎久，瓜生 こずえ，久米 靖啓，
甲田 昌樹，佐藤 清史，瀧本 麻須美，萩野 祐司，
福島 良介，藤井 慎一郎，船越 浩海，渡邊 瑛里，
和田 浩一

「さあ、はじめよう」
はとても大切な科目です。

- 最初の授業なので、受講生に対して強いモチベーションをここで与えると後の科目の講義がうまくいく。
- 文字通り、一番初めの基礎知識を得るところ、（すでに学習済みの人には基礎を確認するところ）

これまでも講義要綱を改善してきた

「さあ、はじめよう」で星座や星などの内容に入る前に、星空案内の意義、ハッピー2乗の法則にも触れることとした。

「星空案内の実際の授業を受けて初めて星空案内の意義を感じた、もっと早く言ってくれば他の授業のモチベーション上がったのに、、、」という受講生の感想があった！

それでもまだ大きな問題があった

内容が豊富すぎる

講師として

講義要綱の全内容を100分に収めるのが大変

受講生として

いっぱいありすぎて頭に入りきらない。

適切な量に調整する必要がある

特に、

当初(2006年)、柴田の原案ではビッグバン、宇宙膨張、宇宙の背景マイクロ波放射、宇宙年齢、大規模構造などは「さあ、はじめよう」では扱わない計画であった。しかし、一部から入れるべきという強い意見があり、結局、追加して盛り込むことになった。

その他、色々盛り込んであったので、追加したために、結局、100分では無理な内容になった。

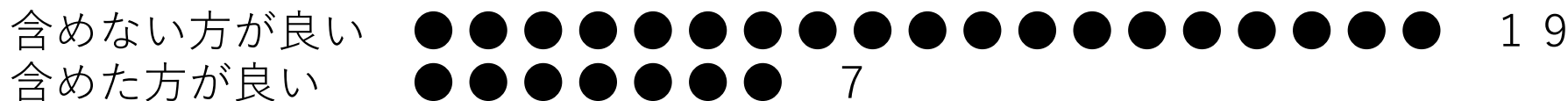


当初の形に戻したい。

星のソムリエ仙台ラボ講座で実験・調査した

「さあ、はじめよう(A)[含むバージョン]」
「さあ、はじめよう(B)[含まないバージョン]」
を講義してアンケート調査した。

結果



意見の内容：

含めない方が良いという方は、新しいことがいっぱいでもここまで理解できない、難しすぎるという意見でした。

含めた方が良いという人は、すでにビッグバンや銀河団などをある程度知っていて、それがないと物足りないという意見でした。つまり、ビッグバン、宇宙膨張などを知っている人からすると、「さあ、はじめよう」でそれが出てこないのは寂しい感じがするという心理が働いているようです。2006年の議論も結局そういうことだったのか。

「さあ、はじめよう(B)[含まないバージョン]」について全体の分量は



今回の改訂では、

- 宇宙の歴史・大規模構造(ビッグバン、宇宙膨張、宇宙の背景マイクロ波放射、ダークマター、銀河団など)は、「さあ、はじめよう」では扱わなくてもかまわないこととする。
- 講師の自由裁量時間で含めるのは自由である。
- 「宇宙はどんな世界」の講義要綱には含まれているので星のソムリエ講座全体をみればもちろん含まれている。
- 「さあ、はじめよう」では、星空案内の現場で高い頻度で現れる天体や事柄に馴染んでもらうことを重点に考えて内容を厳選する。

本提案では結局**14**項目に絞った。**100**分の講義の中で講師の自由裁量項目があることを踏まえると、**14**項目であれば**~1**項目あたり**5**分程度で説明することになる。

具体的な実施方法

ウェブで講義要綱のページ

- 講義要綱 (2020.4.22改訂版) ([pdf](#))

- **講義要綱・新改訂版(2024.4.1発効) (pdf)**

「さあ、はじめよう」については2024年4月1日より講義要綱・新改訂版を使用してください。なお、移行措置として1年間は旧要綱を使っていたいただいても良いですが、2025年4月1日以降は新改訂版に従って講義を行なってください。

改訂趣旨や改訂のポイントについては以下の『「さあ、はじめよう」改訂趣旨』をご覧ください。

- **「さあ、はじめよう」改訂趣旨 (pdf)**

ウェブで認定基準のページの表記 赤字部分が追加分

ウェブで認定基準のページの表記 赤字部分が追加分

コード	科目名(必修科目)	認定基準
A	さあ、はじめよう	<p>単位認定レポート 全国共通版(2011年～)(最新の更新2016.6.25) a～dのどれでもお使いいただけます</p> <p>report-A-4a (pdf) report-A-4b (pdf) report-A-4c (pdf) report-A-4d (pdf)</p> <p>全問題と答え：report-A-4all (ここをクリックpdf) [注意]実施団体のフォルダーにリンクしていますので、当該ファイルをダウンロードしてください。要パスワード: 月例メール参照)</p> <p>report-A-2a (doc)(pdf) 日本語・英語表記版</p>

} 2025.4.1以降削除

新・改訂版に準拠(2024.4.1より有効)
report-A-5a (pdf) (英語併記版 pdf)
report-A-5b (pdf) (英語併記版 pdf)

現在作成中

実施団体には2023年1月31日にNewsLetter No.55 でお知らせ済み

修正希望などを2月29日まで受け付けていましたがこれまでのところ変更希望はありません。

シンポジウムでもここでお伝えしましたので、さらに改訂に手を加えて欲しい方は、機構にメールにてお知らせください。

まとめ

お願い：実施団体の皆様、講師の皆様
「さあ、はじめよう」の講義要綱が改定されました。
授業内容の変更をおねがいします。
単位認定レポートを新しいものに交換くささい。

j 星空案内の実際：チェックシート予定

積立式
使いやすくなる工夫

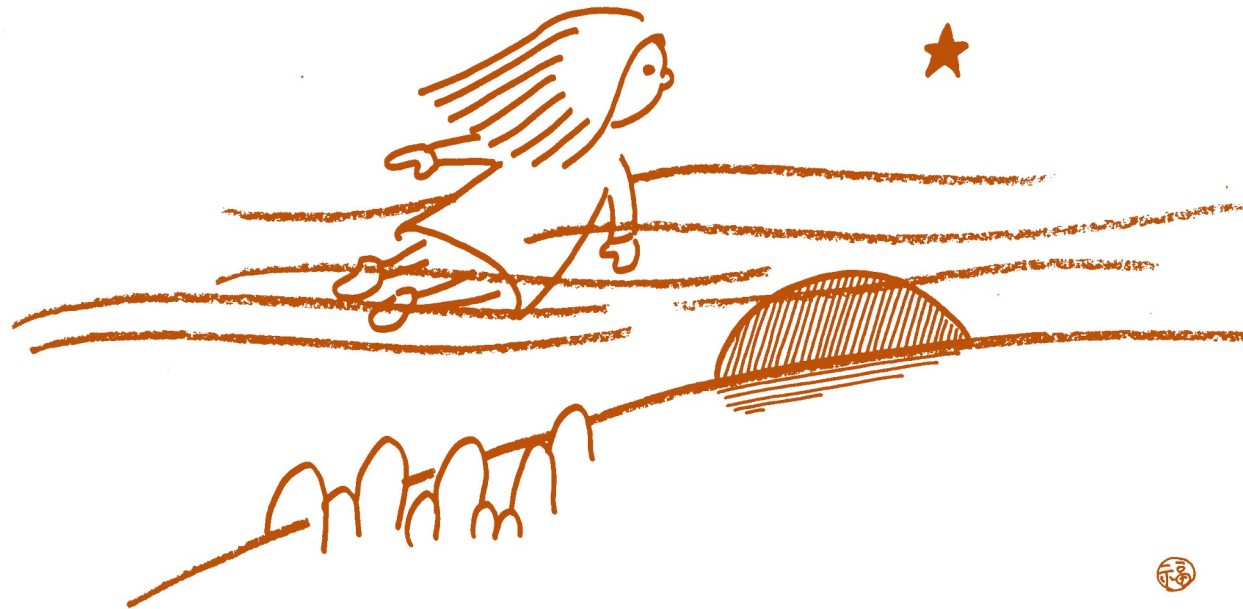
● 星空案内の実際 単位認定チェックシート

- check-C-1 (pdf)(ガイドツアー標準版)
- check-C-2 (ガイドツアー用：双方向性の試験官によるチェック入り)
 - オープンな会場で自由に出入りできるような観望会などを想定・・・3人
- check-C-4 (双方向性のアンケートによるチェック入り)
 - ある程度の人数を集めて実施する観望会などを想定・・・15人
- check-C-5a と check-C5b (両方あわせて認定)(アンケートがとれない場合の認定)
 - 参加者からアンケートが取れない場合を想定。事前計画(5b)も評価

まとめ

お願い：実施団体の皆様、講師の皆様
「さあ、はじめよう」の講義要綱が改定されました。
授業内容の変更をおねがいします。
単位認定レポートを新しいものに交換ください。

ご清聴ありがとうございました。



深化

宇宙・星空に
まつわる文化

天文学の
基礎知識

観察・観測
スキル

分野

A さあ、始めよう

星空案内の楽しみ

星座に親しむ

地球の自転と公転による
星の見え方の違い

太陽系の概観

恒星の明るさと色

いろいろな天体

星・星座の呼び名とその起源

星・星座にまつわる神話、説話

星占い

暦の仕組み

宇宙観の変遷

S1 宇宙はどんな世界

太陽系の構造と形成

星の一生と構造

銀河

宇宙の全体構造

宇宙の進化

B 望遠鏡の しくみ

望遠鏡の原理と構造

屈折望遠鏡
反射望遠鏡
性能を決める要素

架台の構造とその役割

経緯儀
赤道儀

観察上の注意（含、安全）

周辺機器

S3 星座をみつけよう

星座の観察

実際に星や星座を見つける

諸注意

見かけの大きさ

見極め

観察に関する情報収集について

S4 望遠鏡を使って見よう

ある一つの望遠鏡についてセットアップから目的天体の導入、あとかたづけまでができる。

C 星空案内の 実際

星空案内の意義

Happy^2

サイエンス
コミュニ
ケーターと
しての役割

案内スキル

ホスピタリ
ティ
安全